

令和7年度第5回看護研究倫理委員会議事要旨

日時 令和7年10月20日(月) 16:30～17:30
場所 WEB会議(Microsoft Teams) ゼブラ棟2階多目的室④
出席者 ■伊藤委員長 ■山本委員 □古賀委員 ■竹下委員 ■大矢委員
■藤谷委員 ■飯塚委員 ■三宅委員 ■伊藤委員 ■小中委員
■山根委員
(■が出席、□が欠席を表す。)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。

議題

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名:「高齢者の服薬アドヒアランス看護支援システム」を活用した看護介入の有効性の検証

伊藤委員長から、坂根講師より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

・4ページ、研究計画書の研究課題名の英訳について、以下のとおり修正する案が提示された。: Verification of the effectiveness of Nursing Interventions Using the “System for Nursing to Support Medication Adherence in Older Adults” Through a Non-Randomized Controlled Trial

・10ページ、研究計画書「4. 研究デザイン」において非ランダム化比較対象試験を採用する背景について、表現を再検討すること。

・15ページ、研究計画書「11. インフォームド・コンセント」において、介入実施者、研究対象者、研究対象者家族それぞれに対する説明、同意、撤回のステップを、項目を分けて明確に記載すること。

・25ページ、研究計画書「16. 分析方法」について、研究対象者および研究対象者家族がどのタイミングで評価を受けるかが分かるよう、記載を明確にすること。

・研究計画書に、介入実施者、研究対象者、研究対象者家族、それぞれの同意書が必要であることを明記すること。

- ・49～51 ページ、資料③-1 の回答項目「あまりそう思わない」を「そう思わない」に変更すること。
 - ・61 ページ、資料⑤「5. 本研究での倫理的配慮」について、患者や看護師への倫理的配慮に加え、主治医や家族への倫理的配慮についても追記すること。
 - ・76～81 ページ、資料⑩に CNCSS を用いた看護実践能力の自己評価の実施を追記すること。
 - ・94 ページ、資料⑭「4. 研究への参加について」に撤回書の入手方法を追記すること。
 - ・101 ページ、資料⑯「3. 研究方法・研究期間について」に修正前の記載が残っているため、削除すること。
 - ・125 ページ、研究分担リストについて、研究分担者の分担業務の内容にデータの入力作業が含まれるため、再検討すること。
 - ・資料⑤、⑦、⑧、⑨、⑩、⑬、⑭、⑯、⑲に記載のある「医療型療養病棟」を「地域包括ケア病棟」に修正すること。
 - ・その他、誤字や表現についても指摘があった。
- 審議の結果、修正確認後に承認することとした。

報告事項

○2025 年度の看護研究倫理委員会の開催日程の修正について

看護研究倫理委員会業務手順書「6. 1. 必要な資料の提出」に基づき、資料のとおり修正が生じたため、委員に報告を行った。

○審査結果について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 原 百合香
 課題名：看護師の心理的柔軟性とリーダーシップ能力の関連
 審査結果：承認（令和7年9月16日付）
- 2) 申請者：医学系研究科看護学専攻 黒崎 ひかり
 課題名：未就学児を育てながら働く女性副看護師長のワーク・ファミリー・エンリッチメントとその関連要因
 審査結果：承認（令和7年9月16日付）

○終了報告書について

令和7年9月提出：0件

○次回の委員会について

令和7年11月17日（月）16：30